

事業名	医療と福祉の多職種連携を強化・促進するための合同実践研修会		
実施期間	平成28年2月26日・27日(土)		
実施団体	宮崎県精神保健福祉士会 (宮崎県相談支援事業所連絡協議会、日本精神看護協会宮崎支部、県作業療法士会、宮崎県との共催にて実施。)		
実施地域 開催場所	宮崎県宮崎市 南九州大学2階大講義室	参加者合計 185名	看護師、作業療法士、保健師、精神保健福祉士、相談支援専門員、当事者支援者、行政職員 その他
事業内容	<p>1 準備期間  <u>(1) 準備期間</u>  平成27年10月～平成28年3月  多職種による研修企画実行委員会を結成。月1回、精神保健福祉センターにて開催。</p> <p><u>(2) 内容</u>  26日は各保健所が担う地域移行支援協議会進捗状況を4つの圏域から報告、講師からの講評、助言をいただく。圏域ごとに実務者が今年度の活動を振り返り、次年度のビジョン作りを行い、発表と決意表明を行う。</p> <p>27日は前半90分は講義 「医療と福祉で支える地域移行をあらためて考える」という演題にて、講師の吉野 智氏により、地域移行支援の基礎的理解、制度の変遷、現行の仕組みについて、地域移行が進んでいる、進んでいないの評価の仕方、多職種が連携していくための留意点、協議会の必要性等に関してご講義いただく。(宮崎市にて作成した地域移行支援の事例を紹介したメッセージVTRもご活用下さいました。)</p> <p>後半の80分では対談 「精神障がい者が地域で暮らすために」～医療と福祉の連携とは?当事者が求める支援とは?～と題し、まず東 美奈子氏より『医療と福祉の連携はなぜ必要か』との演題にて、連携の必要性やポイントについて事例をまじえてお話しいただき、その後宮崎市内にてピアスタッフとして活動している兒玉美香氏により、会場の参加者の声を拾いながらご自身の想いを語っていただいた。その後、吉野智氏のコーディネートにより、会場からのご意見もいただきながら、ピアの活動や多職種の連携についてお話を深めていただき、最終的に地域移行を推進するために宮崎県としてどんな取り組みが必要か、参加者自身が明日から出来ることは何か、とのお話をまとめさせていただきました。</p> <p><u>(3) 事業により得られた効果</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種、多団体(日精看、OT協会、PSW協会、相談支援専門員協会、ピア、行政)による研修会の開催が出来たことそのものが成果(宮崎県では初めての試みだった。)</li> <li>・研修を開催するにあたり、多職種による研修企画チームが立ち上った【継続決定】</li> <li>・地域移行について基礎的な理解が深まり、多くの専門職の意欲喚起につながった。</li> <li>・ピアの活動、ピアの必要性について多くの専門職に知つもらう機会となった。</li> <li>・『多職種でする研修っていいね、続けてやってほしい』との声が多かった。</li> </ul>		

(報告者 宮崎県精神保健福祉士会 理事 山口 麻衣子)